

調布市立第八中学校コミュニティ・スクール主催

地域熟議 ～わがまち未来カフェ～

八中のこと、地域のこと、みんなで話そう♪

令和 8 年 8 月 30 日(日)
10:00～12:00
調布市立第八中学校体育館

校長先生あいさつ

ファシリテーター
四柳千夏子 san

八中のミライ、まちのミライ

地域の方や保護者の願い、八中生の気持ち、
卒業生の想い…みなさんは今何を考え、
これからどうしたい、どうなるといいなど
思っていますか？

それを伝える場が**地域熟議**です
地域ではどんなことができるのか…

私には何ができるのか…

教育、福祉、社会教育、地域団体など、
さまざまな立場の方たちが集まって
自由に意見交換をしたいと思います。

子どもたちのミライのために

「**顔の見える関係**」を
広げていきましょう

調布市コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度)とは

<https://www.city.chofu.lg.jp/100030/p056013.html>



90名近くが来場
81名が話し合いに
参加!!

熟議①どんな子ども達に育って欲しいか



熟議②前半の内容を受けて

そのためには、地域として、また、自分には何ができるか



今回の熟議の目的は、八中生を囲む地域の方々のつながりを深めることにあります。絆が結ばれた地域で育つ子どもたちは、大人の温かな愛情の中で安心安全な毎日を過ごし、やがて将来は地域社会を担える人材に育つでしょう。地域のネットワークを築くことは、人間を育てるための土壌づくりといえます。今回集まってくださった方々はその趣旨をよく理解し、建設的な意見をたくさん出してくださいました。＜中略＞

冒頭で地域コーディネーターの福田さんから、昔の八中の様子を語っていただきました。十数年前、八中に入学してくる生徒が激減し、1学年単学級の状況となり、存続が危ぶまれた時期があったと福田さんは言います。そこから、制服を変えたり修学旅行の行先を変えたりするなど、学校生活を楽しむさまざまな工夫をこらし、徐々に魅力あふれる学校へと変貌し、現在は370名を越える生徒たちがいきいきと活動する学校となりました。昔の八中を知っている方からは、その変化の大きさによく驚きの声が聞かれます。

そんな学校になれた一番の要因は生徒たちの人間的な魅力にあるのではないのでしょうか。何事も一生懸命、素直で優しく仲間思いの生徒たち。**八中らしさ**という言葉が会場でたびたび口にされましたが、そういう人柄をこれからも継承してほしいというのが、今回の熟議であらためて確認されたように思います。

八中生のみならず、未来を背負う若者たちに、深い愛情と期待を寄せる人たちがこんなにもいるとあらためて知った一日でした。八中生も、その思いに応えて活躍しています。これからも**地域とともに発展していく学校**を目指していきます。

[令和8年9月号八中だより 校長先生より一部抜粋]



地区協議会、健全育成、自治会、商店会、市役所、児童館、消防団、子ども食堂、
社会福祉協議会、近隣大学、スポーツ団体などの多種多様の立場の方々
+ 卒業生とその保護者、在校生とその保護者、教職員など・・・
年齢もバラバラな方々が一堂に会しました！